

道徳学習指導案

平成21年10月27日(火)第2校時

4年4組(教室) 指導者 石田俊彦

(授業改善の視点)

考えをまとめ発表する場面において、道徳ノートを活用したり座席表(支援表)を利用した意図的指名をしたりすることによって、一人一人が学習意欲を高め積極的に学習参加するとともに、友達のたくさんの意見に触れることができるので、道徳的な態度が高まるであろう。

1 主題名「公共のために」 [4-(1) 公德心、規則の尊重]

資料名「公園のトイレで」

出典(明治図書)『魅力ある道徳資料集』

2 主題設定の理由

(1) 価値について

学習指導要領における位置

本主題の中心価値は、「小学校学習指導要領 第3章 道徳の第3学年及び第4学年の内容」の4の(1)にあたる「約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。」である。これは、第1学年及び第2学年の4の(1)「約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にす。」から発展し、第5学年及び第6学年の4の(1)「公德心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切にしながら進んで義務を果たす。」へ発展していく。

ねらいとする価値

本来、人はきまりを守り、周りの人のことを考えて、協力しながら生きていこうと思っている。そうすることが、自分の人生をより豊かで生き甲斐のあるものにすると考えているからである。しかし、時にちょっとしたほんの軽い気持ちから、きまりを破り、周りの人に迷惑をかけてしまうことがある。それは、自己中心的に物事を判断したり真に他の人の立場になって考えてあげられなかったりすることなどによるものである。また、相手との関係を保持したいと思うあまり、間違っていると思われる言動に対しても同調してしまうこともある。このように、自分自身の考えをしっかりと持って、きまりを守ったり、公共のために尽くしたりすることは、容易なことではない。

4年生ともなると、小学校生活の中でも上学年の仲間入りをし、本来、精神的にも身体的にも、少しずつ大人の状態に近づき始めている時期である。価値判断も自律的になりつつあり、集団の中できまりを守ったり、周りの人のことを考えた行動をしたりするようになる。しかし、まだギャングエイジから抜けきらず、周りの人への配慮よりも自分のやりたいことを先行してしまったり、周りの友達に影響されて誤った言動をとってしまったたりすることがある。

したがって、この時期に「約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。」態度を養うことは、大変有意義であることと考える。

関連価値としては、「節度・節制、自立」「誠実・明朗」「礼儀」「思いやり・親切」「勤労」「郷土愛」などが考えられる。

(2) 児童の実態 (男子17名 女子15名 計32名)

『公德心、規則の尊重』に関して、次のような意識調査をした。

(実施人数32人)

授業が始まってしまっていていそがしいとき、どうしてもトイレに行きたくなりました。そして、トイレに入ったら、サンダルが乱れていました。

さて、きみはどうするでしょう。(1つ選んで をつけてください。)

そのままにしておいて、サンダルをはかず、上ぐつのまま入る。

サンダルをはくが、そろえないで出てくる。

自分がいいたサンダルはきれいにそろえて出る。

ほかの人もいたら、全部のサンダルをそろえる。

全部のサンダルをきれいにそろえる。

そうするのは、どんな理由からでしょう。(1つ選んで をつけてください。)

ア めんどくさいから。

イ 自分には関係ないから。

ウ 他のサンダルもみだれているのだから。

エ 当たり前だから。

オ ひとりではたいへんだから。

カ 次の人のためになるから。

キ いそがしいから。

ク 気持ちがいいから。

ケ 人の目が気になるから

コ その他()

回答パターンにより道徳性を分析してみると、(A)「公共の場を大切にしようとしている」と思われる児童が26名、(B)「人の目を気にしながらも公共の場を大切にしようとする気持ちが少しある」児童が1人、(C)「公共の場の大切さは分かるが、他の決まりも守ろうとして十分に実践できない」と思われる児童が3人、(D)「公共の場を大切にしようという気持ちに欠けている」児童が2人いることが分かった。このことから、意識面では、きまりを守ることや公共の場を大切にすることの重要性を、頭の中ではよく理解している児童が多いと言える。

児童の日常の学校生活の様子を見ると、素直で優しい気持ちの児童が多いことが窺える。しかし、時折自分勝手に平気できまりを破ったり、周りのことを考えずに行動したりする児童が見受けられるのも否めない。4月当初から比べると大分改善されてきているが、まだまだ規範意識が低かったり、一人一人の児童の学級や学校への所属意識が低かったりしている。しかし、元来優しい児童の多い集団なので、互いに協力して活動するような体験を多く積んだり、公共のために尽くせた児童の様子を知る機会が持てたりすれば、周りのことを考えて、きまりを守ったり、自分から進んで公共のために行動ができたりするようになると思われる。

以上のことから考えて、この機会に、「約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。」態度を養うことは意義あるものと考えられる。

(3) 資料について

家族4人でデパートに買い物に行き、レストランで昼食をとり家へ帰る途中に、おなか
が痛くなった幸一。家まで我慢できず、どんぐり公園のトイレに入った。すると、便器の
ふちが汚れていたが、我慢できず、嫌な臭いと汚れを我慢して用を足した。しかし、幸一
は便器をさらに汚してしまった。幸一は、迷ったが、便器をそのままにしてあわてて外に
出た。その時、そうじに来たおばさんにぶつかってしまった。おばさんから優しい言葉を
かけてもらったにもかかわらず、幸一は何も言わずその場から逃げ出すように走り去って
しまった。一端は家族のもとにもどった幸一であったが、汚した便器のことや優しい言葉
をかけてくれたおばさんのことが気になり、そのトイレに戻ることにした。そして、おば
さんに正直に謝るとともに、そうじをすと言い出した。既に、きれいにしてくれていた
おばさんからは幸一を褒める言葉を聞くことができたのであった。

こんな内容の資料である。(汚してしまったトイレをきれいにした方がよいと思うけど、
汚いし面倒くさいから、どうしよう。)こんな幸一の心の中の葛藤を、児童に自分のこと
として共感させることができると思われる。また、汚した便器や優しい言葉をかけてくれ
たおばさんのことが気になり、トイレに戻りそうじをしようとした幸一のとった行動に対
して感動の気持ちを持たせたり、その時の幸一の考えやおばさんの思いを深く探らせるこ
とができたりすると考えられる。さらに、きまりを守ったり公共のために行動したりする
ことの大切さを感じ取らせるとともに、自分自身の生活を振り返らせることにより、価値
観を高めさせることができると考える。

以上のことから、この資料は、本学級の児童にとって適切なものと考えられる。

(4) 内容項目の系統

内 容 項 目	学年	主題
約束やきまりを守り、 みんなが使う物を大切に にする。	1 年	(5月)順番に (7月)みんなの物 (11月)みんなが使う物
	2 年	(4月)きまりを破って (6月)周りを考えて (9月)みんなのもの
約束や社会のきまりを 守り、公德心をもつ。	3 年	(5月)きまりをまもり気持ちよい生 活をする (6月)みんなで使うもの (12月)きまりを守るといことは
	4 年	(6月)ルール違反 (9月)みんなのきまり (11月)公共のために(本時)
公德心をもって法やき まりを守り、自他の権 利を大切にしながら義 務を果たす。	5 年	(5月)公共の場所を美しく (11月)公共でのマナー
	6 年	(11月)公共の場所を美しく (2月)正しい主張

3 指導方針（校内研修にかかわる支援は、人権教育にかかわる支援はとする。）

（１）学活「遠足にかかわる事前学習」、学校行事「遠足」、学級活動、日常的な活動（朝の会や帰りの会）などと有機的な関連を図りながら、その中核として本時を位置づける。

（２）本時の展開は、「触れる」「深める」「まとめる」の３段階で構成する。そして、それぞれの段階では、下記のような点に配慮したい。

「触れる」の段階

- ・資料に関係する絵を掲示しながら、登場人物、あらすじなどを伝え、興味・関心を持たせるようにする。その際に、最近行って来た遠足の話も出しながら、公共の場の使い方にかかわるお話であることを意識させる。

「深める」の段階の前段

- ・場面を臨場感をもって理解させるため、範読する。
- ・便器をさらに汚してしまったことに気づいた時の「幸一」の心の葛藤に気づかせる。
- ・トイレを汚したままその場を去ってしまった後の幸一の心の中の様子を探らせる。
- ・汚したことを正直に言いきれいにしようとしたことができた幸一の気持ちやおばさんの思いなどを深く探らせる。

自分の考えを整理して発表しやすいように、道徳ノートを活用させる。

一人一人の考えを把握したり意図的指名をしたりするために、座席表（支援表）を活用する。

すべての児童が発言しやすいような受容的な雰囲気をつくるよう心がける。

「深める」の段階の後段

- ・今までの自分や今の自分をよく見つめさせ、自分の考え方や行動の仕方に気づかせる。

机間指導をしながら、児童の考えに対して共感したり発言を促したりする。

何人かに発表させることにより、自分より高い価値に触れさせる。

「まとめる」の段階

- ・「空きかんの投げすて」にかかわる資料を読み聞かせることによって、価値に対する意識の継続を図る。

（３）全体を通して・その他

他の人の意見を真剣に聞くようにさせる。

お互いの考えを把握しやすいように、座席をコの字型に配列させる。（学級会時と同じ並び方）

資料の話の内容や主人公等の心の変容を把握しやすいように、構造的板書を心がける。

4 人権教育とのかかわり

社会全体に価値観の揺らぎ、倫理観の喪失、規範意識の低下などが見られるようになり、大人の社会でも子どもの社会でも、きまりを守ったり、しっかりとした公德心を身に付けたりしている人が減ってきていることは否めない状況である。

そんな現状を踏まえ、行動範囲が広がり、集団や社会を意識し始める中学年では、きまりを守り、公共のために尽くすことの必要性を感じ、自ら行動に移そうとする態度を身に付けることが必要である。

そこで、中学年の子供達の身近に起きそうな問題を扱った資料を取り上げ、主人公等の気持ちの変容に共感させたり、感動する体験をさせたりする。

【育てたい能力・態度】

感性：資料の主人公等の心の変容に共感することで、公共のものを大事に使うことの大切さに気づく。

判断力：多様な考えに触れることで、自分の考えを整理し、公正・公平に判断する。

実践力：今までの自分を振り返ることで、きまりを守ったり、公共のものを大切にしたりしようとする。

5 事前・事後の指導について

(事前)・公德心にかかわるアンケートをすることで、公共のものを大切にしようとする意識を高めておく。

・帰りの会での「がんばり・思いやりコーナー」の紹介の様子を通して、日々の互いの行動に対して認め合う雰囲気をつくっておく。

(事後)・朝の会、帰りの会等で、児童が公德心のある行動をしたことを取り上げ、賞賛し、意欲づけを図る。

6 本時の学習

(1) ねらい

きまりを守り、公共のものを大切にしようとする態度を身に付ける。

(2) 準備

(教師) プリント「公園のトイレで」・「空きかんの投げすてにかかわる新聞の投書」
道徳ノート 絵 ポイントカード

(児童) プリント「公園のトイレで」 道徳ノート

(3) 人権教育の視点

感性：資料の中の「幸一」の心の変容に共感し、公共のものを大事にする大切さに気づく。

判断力：級友の多様な考えを聞きながら、自分の考えを見直し、きまりを守ることや公共のものの大切さについて考えることができる。

実践力：今までの自分を振り返ることで、きまりを守り、公共のものを大切にしようとする態度を身に付ける。

- ・さまざまな考えに触れるとともに互いに認め合うことにより、自分自身の道徳的価値が高められるようにする。
- ・事前の実態調査、日常の児童観察、机間指導等で児童の考えや心情などを適切に把握し意図的指名をすることで、より多くの児童が活躍できる機会を作る。

(4) 展開

段階	学習活動と 主な発問 基本発問 中心発問	予想される 児童の反応	時間	支援及び留意点 (校内研修関連には、人権教育的配慮には) 【 】内は人権教育にかかわる育てたい能力・態度
触れる	1 過日行った遠足のことを振り返るとともに登場人物やあらすじを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・遠足の時には、公共の場を大切にできたかな。 ・どんな話だろう。 ・もっと詳しく話の内容を知りたい。 	3分	<ul style="list-style-type: none"> ・公共の場での話であることを意識させる。 ・興味や関心をそそるためにもポイントを押さえ短い時間で話す。 ・場面の状況が理解しやすいように絵を掲示する。
深める	<p>2 資料を読んで話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 便器をさらによごしてしまったことに気づいた幸一は、どんなことを考えたかな。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> トイレをよごしたまま出て、公園の入り口まで行った幸一は、どんな気持ちだったかな？ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 本当のことを言い、おばさんに「……とてもうれしいですよ。」と言われた幸一はどんな気持ちだったかな。 </div> <p>3 今までの自分を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 今までの自分は、多くの人々が利用する場所（学校、公園、駅、道路など）で、どうすることが多かったでしょうか。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・どうしたらいいんだ。 ・きれいにした方がいいかな。 ・汚いし、面倒だな。 ・このままではいけない。 ・もどってきれいにしよう。 ・おばさんに正直にあやまろう。 ・正直に言えてよかった。 ・もどってきてよかった。 ・爽やかな気分。 ・これからは、初めからしよう。 ・トイレのサンダルをそろえなかったな。 ・道路に空き缶を捨ててしまったな。 ・公園のごみを片付けられて、気持ちよかった。 	37分	<ul style="list-style-type: none"> ・範読 ・幸一の心の中の様子を探らせる。 ・<u>道徳ノートを使用させ、自分の考えを整理し、発表させる。</u> ・<u>内容を理解できない児童に助言する。</u> ・幸一の気持ちに迫っている児童の発言を促す。 ・汚してしまった幸一の立場に共感させ、だれにでもあることを押さえる。 ・<u>座席表を使い児童の考えを把握し、意図的指名をする。</u> ・<u>友達の意見を静かに聞かせる。【判断力】</u> ・幸一の勇気ある誠実な態度を支える考えを深く掘り下げ、なぜそのように変容したのか考えさせる。【感性】 ・<u>普段の生活の中で公德心が不足している児童を意図的指名する。</u> ・<u>出された考えに近いものに挙手させることで、全員に自己存在感を持たせる。</u> ・公園の奥の方へ歩き出したおばさんを見送り、遠くから呼ぶ妹の声を聞いている時の幸一には爽やかな気持ちやこれからの決意などさまざまなことが胸に去来していることを感じ取らせる。 ・今までの自分は、どんな行動をしていたか気づかせるとともに、友達の考え方や行動の仕方を知り、より高い価値に触れさせる。【実践力】

	例えば、どんなことがあったか思いうかべてみましょう。また、その時のことをふりかえって、今どんな思いがしますか。	・遠足に行って、人のごみも片付けられたよ。	
まとめ	4 「空きかんの投げすて」にかかわる資料を読みを聞く。	・公共で使うところは、大切にしよう。 ・社会の一員として自分のできることはきちんとしよう。	5分 ・価値に対する意識の継続を図る。【実践力】

(5) 評価の観点

自分を見つめたり、他の多様な価値観に触れたりすることを通して、より高い価値へ意識を向けることができたか。

7 板書計画

絵
公園のトイレ

公園のトイレで
幸一 家族4人で買いで屋食
よいやなにおいで
「あっ。」さらによ「してしまった

正直に言えてよかつた
もどつてきえてよかつた
これからは初めからしよう

「おそつじはもうしたから・・・」
「とてもうれしいですよ。」
「おそつじはもうしたから・・・」

「ぼく、だいじょうぶ？ 気をつけてね。」
「おそつじはもうしたから・・・」

「このままではいけない
もどつてきれいにしよう
おばさんに正直にあやまろう」

「どうしたらいいんだ
きれいにした方がいいかな
きたないし、めんどうだな」

↑
にげるようにぶつかる

8 資料

(1)「道徳ノート」

〈道徳ノート〉(主題名)「公共のために」

(資料名)「公園のトイレ」

四年四組()

先生から聞くことなど	自分で考えること・思うこと・感じることなど
<p>1 便器をさらによごしてしまったことに気づいた幸一は、どんなことを考えたかな？</p>	
<p>2 トイレをよごしたまま出て、公園の入り口まで行った幸一は、どんな気持ちだったかな？</p>	
<p>3 本当のことを言い、おばさんに「……とてもうれしいですよ。」と言われた幸一は、どんな気持ちだったかな？</p>	

<p>○ 今までの自分は、多くの人が利用する場所(学校、公園、駅、道路など)で、どうすることが多かったでしょう。</p> <p>例えば、どんなことがあったか思いうかべてみましょう。</p> <p>また、その時のことをふりかえって、今、どんな思いがしますか。</p>	<p>・ 例えば、……</p>
<p>○ 今日の学習を振り返って、感想を書いてみよう！</p>	

(2) 「公園のトイレで」

このごろ、あちこちにジュースやコーヒなどの自動販売機ができて、飲んだ後、道路や川に投げすてていく人が増えてきたように思います。

わたしの家の前にも平気ですてたり、へいの上においていたりするので、毎日そのかたづけをしなければならず、たいへん困っています。

先日は、空きかんが強風でとばされて転がり、ちょうどそこへ走ってきた幼児がつかずいて頭に大けがをしたのです。

それから二、三日、飲みながら歩いてくる人の様子を見ていました。あたりを見回しながらこっそりすてていく人、平気で投げすてていく人、なかには、空きかんを足でけりながら行く小学生もいました。

わたしたちの町が、空きかんであらされていくようで、とても心配です。

〇〇市 山田まり子

(4) 座席表 (支援表)